※令和４年度以降入学生用

学校番号	317

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ２」　（教育芸術社）						
副教材等	高校生のための音楽研究ノート　（教育芸術社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌を歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・技術を高めることも重要ですが、人と比べてではなく、自分の課題をクリアするために努力することが大切です。
・また、グループのメンバーとともに研究したり、お互いに議論したりする中で、表現を深め試していき、感性を磨いていきます。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし，音楽文化についての理解を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりおよびその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 創意工夫などを生かした歌唱表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱・器楽などで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて独自の表現意図を持ったり、曲や演奏に関する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	曲想と音楽の構造や歌詞との関わりおよびその関わりによって生み出される表現上の効果に関心を持ち、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	曲想を感じ取って、ふさわしい発声で歌おう	【歌唱】 SUN 涙そうそう ハナミズキ	a:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技テスト	ワークシート 実技テスト	観察 ワークシート
	リズム・アンサンブルを楽しもう	【器楽】 ソルフェージュ Prelude　Ⅲ	a:曲想と手拍子や足踏みの音色や奏法との関わりおよびその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 b:リズム、速度、強弱、形式、構成を知覚し、それらの動きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図を持っている。 c:曲想と手拍子や足踏みの音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	ワークシート グループ発表	観察 ワークシート ふりかえりシート
	ソプラノリコーダーに親しもう	【器楽】 パッヘルベルのカノン	a:曲想とリコーダーの音色や奏法との関わりおよびその表現上の効果について理解している。他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 b:音色、リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図を持っている。 c:曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり、及びアーティキュレーションに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技テスト	ワークシート 実技テスト	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	音楽を形作っている要素に注目して、曲のよさや	【鑑賞】 映画を彩る音楽 ハリーポッターと賢者の石	a：曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めている。 b：音色、リズム、テクスチュア、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを深く味わって聴いている。 c：曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術とのかかわりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
二学期	諸外国の音楽に親しみ、表現を工夫して独唱しよう	【歌唱】 Alleluja FuniculÌ-Funiculà	a：曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりおよびその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b：旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図を持っている。 c：曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりおよびその関わりによって生み出される表現上の効果に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察	観察 実技テスト	観察 ふりかえりシート
	表現を工夫してギターやリコーダーを演奏しよう	【器楽】 ギター　タブ譜の読み方 Tears In Heaven ソプラノリコーダー 冬(第２楽章)	a：曲想とギター、リコーダーの音色や奏法との関わりおよびその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法などの技能を身に付け、器楽で表している。 b：音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図を持っている。 c：曲想とギター、リコーダーの音色や奏法との関わりおよびその関わりによって生み出される表現上の効果に関心を持ち主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	観察 実技テスト	観察 ワークシート
	和楽器に親しみ、	【器楽】 篠笛 さくら 馬鹿囃子	a：和楽器の音色や奏法との関わり、及び和楽器を使った様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、および音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。	観察 ワークシート	ワークシート 実技テスト	観察 ワークシート ふりかえりシー

※令和４年度以降入学生用

		【鑑賞】 箏曲　みだれ(乱輪舌)	b:音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、どのように演奏するかについて表現意図を持ち、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:和楽器の音色や奏法との関わり、及び和楽器を使った様々な表現に関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。			ト
三学期	楽しく表現しよう	【歌唱】 歩いて帰ろう One more time , One more chance 【鑑賞】 ミュージカル　オペラ座の怪人	a:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりおよびその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解している。 b:音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図を持っている。また、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりおよびその関わりによって生み出される表現上の効果に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。音楽の特徴と他の芸術との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に観賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	ワークシート 実技テスト	観察 ワークシート ふりかえりシート
		【自由課題】 発表会を開こう	a:これまでの学習を活かし、曲想と楽器の音色や奏法との関わりおよびその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱や器楽で表している。 b:音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図を持っている。また、聴衆を意識した演出等に気を配ることができる。 c:曲想とギターの音色や奏法との関わりおよびその関わりによって生み出される表現上の効果に関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	ワークシート 実技テスト	観察 ワークシート ふりかえりシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度